

支援情報等のお知らせ

- 1) 子ども・若者支援協議会からのお知らせ
 - ① 長期化する不登校児童生徒の支援に情報を役立ててください！
 - ② 第5回ぐんま子ども・若者支援フォーラムのご案内
 - ③ 「県・市町村青少年相談担当職員東毛地区研修会」の結果
- 2) 自立支援に関するイベント等の情報
 - ① ひきこもり家族教室『ひきこもりとは』
 - ② 安中市 ひきこもり講演会「ひきこもりの理解と対応」
 - ③ 県消費生活センター「子ども・若者向け支援情報シリーズ36」
- 3) 民間活動団体等の紹介
 - ① 渋川市 NPO法人「のびるっこ」

1 長期化する不登校児童生徒の支援に情報を役立ててください！

小中高校では2学期が本格的に始まりました。子どもたちの中には学校に行きづらさを感じたり、不登校状態が長期化したりするケースもあるかと思えます。

県総合教育センターの「つなサポ」、不登校児童生徒の支援を特集した子ども・若者の自立支援ガイド（支援者編）を活用してください。

【支援ガイド】

⇒ <https://www.pref.gunma.jp/page/3727.html>

【つなサポ】<再掲載>

群馬県総合教育センターでは、6月から長期欠席（原則30日以上）の児童生徒を対象に、3Dメタバース（仮想空間）を利用した新しい学びの場を提供しています。

いつでも、どこでも、自分らしく学べる場所をオンラインで提供する新しい学びのカタチ【つなサポ】とは

- ・アバターで参加、チャットでやりとり
- ・学習や相談を個別にサポート
- ・自分のペースで学びをオーダーメイド
- ・自宅のパソコンからアクセス（参加費無料）

例えば

- ・学習サポート（自主学習）では、
⇒ ICT教材「eboard」を使って自分のペースで学習を進められます。
- ・個別学習・相談サポートでは、
⇒ スタッフが音声やチャットを使って学習をサポートします。
⇒ 学習や進路、部活動、友人関係、気持ちがモヤモヤするなど専門の相談員に相談できます。
- ・コミュニケーションサポートでは、
⇒ 一日2回のスタートタイムでは、その日の体調を確認しながら学習予定を決めたり、学習状況を振り返ったりします。
⇒ スポーツやイラストなど、多様なデジタルツールを使って友だちづくりをしたり、自分の特技を伸ばしたりできます。

「つなサポ」申込みは学校からになります。
利用対象となる不登校の児童生徒について下記にご相談ください。

【総合教育センター問合せ先】
心と学びのサポートセンター「つなぐん」
子ども教育相談係 0270-26-9217

2 第5回ぐんま子ども・若者支援フォーラムのご案内

困難な状況の中で生活する子どもや若者を支援する団体等の連絡会「ぐんまの子ども・若者支援ネットワーク」（本年5月設立）では、下記のとおりフォーラムを開催します。

「みんなでつながり、支援の輪を広げましょう」をスローガンに群大附属病院小児科医による記念講演、「通信制高校」と「居場所」をテーマにした分科会の開催を通して、多様な主体による子ども・若者支援について理解を深めるとともに、さらなる連携・協働体制の推進を目指していきます。

【概要】

日時：令和6年9月16日（月・祝） 13:00～16:30
会場：群馬県社会福祉総合センター（前橋市新前橋町13-12）
B01会議室、203AB会議室
対象：困難な状況にある子ども・若者を支援している個人および
団体、子ども・若者支援に関心のある方等

内容

第1部 基調講演（13:10～14:40）

テーマ「医療現場から見つめる子どもたちの姿」
講師 群馬大学大学院 医学系研究科小児科分野
助教 小児科専門医 堀越 隆伸 氏

第2部 分科会（14:50～16:30）

・分科会Ⅰ「通信制高校を考える」

発表者 飛鳥未来きずな高等学校 キャンパス長 小林 未典 氏
群馬県私立通信制高校等連絡協議会 事務局 丸山 昌利 氏
進行 NPO法人DNA 代表理事 沼田 翔二郎 氏

・分科会Ⅱ「居場所を考える」

発表者 NPO法人みんなのおうえん団 代表理事 轟田 あずさ 氏
親子サークル ははーず 代表 佐藤 美幸 氏
進行 渋川市社会福祉協議会 地域福祉課長 登坂 将志 氏

16:30 閉会 ※閉会后、17時まで交流の時間とします。

【申込方法】

グーグルフォームにて9月10日（火）までにお申し込みください。
<https://forms.gle/qETexkqzcQPum2277>

県内における民間支援団体等の連携・協働の輪が広がっています。
この機会に是非、ネットワークに参加してください。
ネットワークへの参加案内はこちらをご覧ください。
<https://www.g-shakyo.or.jp/news/62407.html>

3 「県・市町村青少年相談担当職員東毛地区研修会」の結果

7/28に開催した「県・市町村青少年相談担当職員東毛地区研修会」の参加者アンケート結果をまとめました。
なお、研修会は12月にも開催を予定しています。詳細が決まり次第

ご案内します。

アンケート結果、当日配付資料はこちらからご覧いただけます。
<https://www.pref.gunma.jp/page/662411.html>

<問い合わせ先>

群馬県子ども・若者支援協議会
(私学・青少年課 青少年育成係)
電話 027-898-3557
e-mail : kowaka-shien@pref.gunma.lg.jp

4 10/22 ひきこもり家族教室『ひきこもり』とは

ひきこもり支援センター（県こころの健康センター内）では、ひきこもりに悩んでいるご家族を対象に家族教室を開催しています。

ひきこもりに関する知識や情報、ちょっとした声かけの工夫などを学びながら、ご家族自身の気持ちにゆとりを持つ機会としませんか。

【参加者の声】

「皆さんのお話から元気をいただけた」
「工夫できるところが見つかった」
「気持ちに余裕が持てるようになった」
「選択肢が広がった」 etc...

■教室の内容はCRAFT（認知行動療法）を参考にしています。
「家族の気持ちの安定が、本人の気持ちにも影響を与え、本人の状態が良くなる」という研究結果があります。

■初めての方は個別の相談をお受けした後に、必要に応じて

教室をご案内しています。参加をご希望される場合は、
下記連絡先までご連絡ください。

■家族教室で使用するテキストは県ホームページに掲載しています。
こちらからダウンロードしてください。
<https://www.pref.gunma.jp/page/632294.html>

【10月の家族教室】

教室：10月22日（火） 第4火曜日 13:30～16:00
内容：『ひきこもり』とは

前半：家族教室 13:30～15:00（受付13:00）

後半：家族の居場所 15:00～16:00（受付14:30）

◆ご家族同士で感想等をお話しする時間です。

◆前半「家族教室」に参加したことのある方は、
後半「家族の居場所」のみの参加も可能です。

会場：群馬県こころの健康センター（前橋市野中町368）

連絡先：ひきこもり支援センター

専用ダイヤル 027-287-1121

月～金 9:00～17:00（祝日・年末年始は除く）

※電話が集中した場合つながりにくいことがあります。

■支援者の方の参加もお待ちしております。
※支援者の方は 027-263-1166 へお願いします。

5 | 10/24 安中市 ひきこもり講演会「ひきこもりの理解と対応」

安中市では、一般社団法人「ひきこもりU×会議」の運営協力の下記のとおり講演会を開催します。

ひきこもり状態の人に対して、家族や支援者、周りの人はどのように接し対応したらよいのか悩む人は少なくありません。

講演会では、長年、ひきこもりに関する家族支援に取り組まれている東京学芸大学教授の福井里江さんから、ご家族や地域の方に向けて当事者への理解や接し方についてお話しいただきます。

講演会の後半では、不登校・ひきこもり経験者である「ひきこもりU×会議」の林恭子さんが、福井さんとの質疑応答を交えながら対談します。ひきこもり当事者への理解を深め、接し方のヒントを得る機会として、是非、参加してください。

なお、講演会終了後に「小さな交流会」を開催します。ひきこもり当事者や経験者はもちろん、ご家族や支援者、地域の方など、ひきこもりに関心のある方で集まってみませんか。

【概要】

日時：2024年10月24日（木）13：30～15：30（開場13：00）

会場：松井田文化会館 大ホール（安中市松井田町新堀530）

対象：ひきこもり当事者、ご家族、支援者、関心のある方など
どなたでも可能

参加費：無料（定員200名申込み順）注）定員になり受付終了

申込方法：受付開始 9月10日（火）9時～

■ 申込みフォーム <https://forms.gle/1KrUjMVbBtm6gTXG8>

■ 電話での申し込み

安中市役所 福祉課 福祉相談係

027-382-1111（内線1191）

（月～金/8:30～17:15）

講師：福井里江氏（東京学芸大学教育心理学講座 教授）

公認心理師、臨床心理士、博士（保健学）

ひきこもりや不登校をめぐる家族支援やスパイクに長年取り組んでおり、国や自治体における講演会や研修会にも多数関わっている。

<一般社団法人「ひきこもりU×会議」について>

2014年6月発足。ひきこもりをはじめ、人とかかわる困難さ、居場所のなさ、“ふつう”や“こうあるべき”と違うこと一

さまざまな背景に起因する「生きづらさ」。

そのすべてを「Unique eXperience(ユニーク・エクス・リエンス＝固有体験)」

と捉え、不登校、ひきこもり、発達障害、性的マイノリティなどの当事者・経験者が、当事者視点で「生存戦略」提案・発信を続ける。

活動の詳細はHPをご覧ください。

<https://uxkaigi.jp>

6 | 群馬県消費生活センター「子ども・若者向け支援情報シリーズ36」 コンタクトレンズによる目のトラブルにご注意ください

9月10日は、一般社団法人日本コンタクトレンズ協会が制定した「コンタクトレンズの日」です。

ソフトレンズ、ハードレンズ、使い捨てタイプ、カラーレンズなど様々な種類が販売され、身体や生活スタイルにあった使い方ができるコンタクトレンズですが、独立行政法人国民生活センターのドクターメール箱には、コンタクトレンズ装着による眼障害と診断された情報が寄せられ

ていますので注意してください。

◆主な危害事例

- ・個人輸入代行サイトで購入した国内で流通していないカラーコンタクトレンズを使用し、充血、眼脂などの症状があらわれた。
- ・メガネ店で購入したソフトコンタクトレンズの不適切なレンズケアで、目のかすみ、ぼやけるといった症状があらわれた。2年以上眼科での検査を受けていなかった。
- ・前日からの右眼充血を訴えて来院。2年前に検査を受けて以降は、全く検査を受けずにネット購入を繰り返していたとのこと。こすり洗いも行っていないに等しい状態で、2週間交換タイプのソフトコンタクトレンズを1カ月交換と勘違いしたままであった。

【トラブルに遭わないために】

- ・コンタクトレンズを購入する際は、必ず眼科を受診し、眼科医の処方に従ったレンズを選択しましょう。
- ・コンタクトレンズは使用期限を守って使いましょう。また、繰り返し使用ができるレンズは、レンズケアを毎回正しく行うようにしましょう。
- ・目に異常を感じた場合には、直ちに使用をやめ、眼科を受診しましょう。また、目に異常を感じていなくても、必ず定期検査を受けましょう。
- ・カラーコンタクトレンズも、視力矯正用と同様に高度管理医療機器（障害が生じた場合に健康に重大な影響を与えるおそれがあるものとして国が承認）に分類されますので、使用にはご注意ください。

★こまったら、まず相談！！

消費者ホットライン「188（いやや！泣き寝入り！）」

※最寄りの消費生活センターを案内する全国共通3桁の電話番号です

《お問い合わせ》

群馬県消費生活センター 027-223-3001

<https://www.pref.gunma.jp/page/8392.html>

7 民間活動団体等 渋川市 NPO法人「のびるっこ」

子ども時代の様々な体験活動を通して心身ともに豊かに成長して欲しいと願って、お母さんたちと2010年から子育て支援活動を始めました。
(2023年9月にNPO法人として認定されました)

【主な活動】

- ・「おもちゃの広場」は誰もが気軽に集い、おもちゃを介して交流できる地域の子育てサロンです。
- ・子どもが自分でつくる「ぶち弁当の日」では、幼・保育園児や小学生を対象に、自分でおにぎりをにぎって、たまごやウインナーを焼いて、お弁当ばこにつめこみます。
- ・「はじめてのカヌー体験」では、校区の違う小学生と中学生でバディを組み自分たちの力だけで湖を進みます。連帯感や達成感を味わうことができるイベントです。

のびるっこでは、「食」「農」「手工業」「スポーツ」「おもちゃ」「ボードゲーム・カードゲーム」「音楽」「読書」etc
様々な体験や遊びを通じて、大人も子どもも一緒に楽しめる居場所づくりを目指します。

【子育て相談】

活動に参加される親御さんから子育て相談も受けています。

友達とのトラブルが多いな・・・とか

一人だけみんなと違うことをする・・・とか

お弁当や給食を食べられない・・・とか
落ち着きがない、感情の起伏が激しい、言葉の遅れが気になるなどなど、

親御さんと子どもと、どちらの気持ちも尊重しながら、メンバーの
臨床心理士、保育士、おもちゃコンサルタントが、様々な視点から
その子に合ったアプローチを一緒に考えていきます。
どうぞお気軽にご相談ください。

のびるっこの活動の詳細はHPをご覧ください。
⇒ <https://nponobirukko.wixsite.com/home>



次号は、2024年10月中旬を予定しています。
本メルマガを、皆様の周りの方にも周知いただければ幸いです。
また、子ども・若者支援に関する情報等の提供もお待ちしています。

メルマガを新規で受信希望する方は、「所属・氏名・メールアドレス」を『kowaka-shien@pref.gunma.lg.jp』までお送り下さい。

..... 群馬県子ども・若者支援協議会

- ▼ 事務局 群馬県前橋市大手町1-1-1 群馬県生活子ども部
私学・青少年課内（県庁舎 12階南フロア）
- ▼ TEL 027-898-3557
- ▼ FAX 027-226-2100
- ▼ e-mail kowaka-shien@pref.gunma.lg.jp
- ▼ HP https://www.pref.gunma.jp/soshiki/50/#sp_headline_3
県HP「子ども・若者への支援」